

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：高松 諭

事業名	一般国道464号北千葉道路（市川・松戸）		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自：千葉縣市川市堀之内 至：千葉縣市川市大町			延長	3.5 km	
事業概要						
一般国道464号北千葉道路（市川・松戸）は、沿線地域の慢性的な交通混雑緩和や交通事故の削減、地域振興を支援する規格の高い道路ネットワークの強化を目的とした千葉縣市川市堀之内から千葉縣市川市大町までの延長3.5kmの道路事業である。						
R3年度事業化	S44年度都市計画決定 R2年度都市計画変更		用地未着手	工事未着手		
全体事業費	約1,900億円	事業進捗率	約1%	供用済延長	—	
		(令和5年3月末時点)				
計画交通量	専用部 14,400台/日		一般部 14,600~32,700台/日			
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 3.6  (残事業) 3.7	総費用 (残事業)/(全体事業) 1,557/1,563 億円 事業費：1,465/1,471 億円 維持管理費：92/92億円	総便益 (残事業)/(全体事業) 5,683/5,683 億円 走行時間短縮便益：5,403/5,403億円 走行経費減少便益：255/255億円 交通事故減少便益：25/25億円	基準年 令和5年		
感度分析の結果						
【事業全体】交通量：B/C= 3.6~3.7(交通量 ±10%) 事業費：B/C= 3.3~4.0(事業費 ±10%) 事業期間：B/C= 3.3~3.8(事業期間±20%)						
【残事業】交通量：B/C= 3.6~3.7 (交通量 ±10%) 事業費：B/C= 3.3~4.0 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C= 3.3~3.8 (事業期間±20%)						
事業の効果等						
①周辺道路の混雑緩和 ・交通転換による国道464号の渋滞緩和、安全性向上。						
②地域産業の支援 ・首都圏方面へのアクセス向上による企業誘致等の地域産業支援。						
関係する地方公共団体等の意見						
千葉県知事の意見： 一般国道464号北千葉道路は、外環道と成田国際空港を最短で結び、首都圏の国際競争力を強化し、災害時における緊急輸送道路として機能するとともに、沿線地域における慢性的な交通渋滞などの課題を解決する、大変重要な道路である。 県としても沿線市とともに最大限協力していくので、早期完成に向け事業の推進に努められたい。						
事業評価監視委員会の意見						
事業の継続を了承する。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
・地元情勢の変化や事業を巡る社会経済情勢等に変化は見られない。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
・令和3年度に事業化し、調査・設計を実施。 ・当該事業の用地取得は未着手。 ・調査設計や用地取得に向けた道路設計の関係機関協議が完了次第、用地着手を予定。 ・今後の進捗に応じて物価・労務費上昇の影響を精査。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
—						
施設の構造や工法の変更等						
・引き続きコスト縮減に努めながら事業を推進していく。						
対応方針	事業継続					

**対応方針決定の理由**

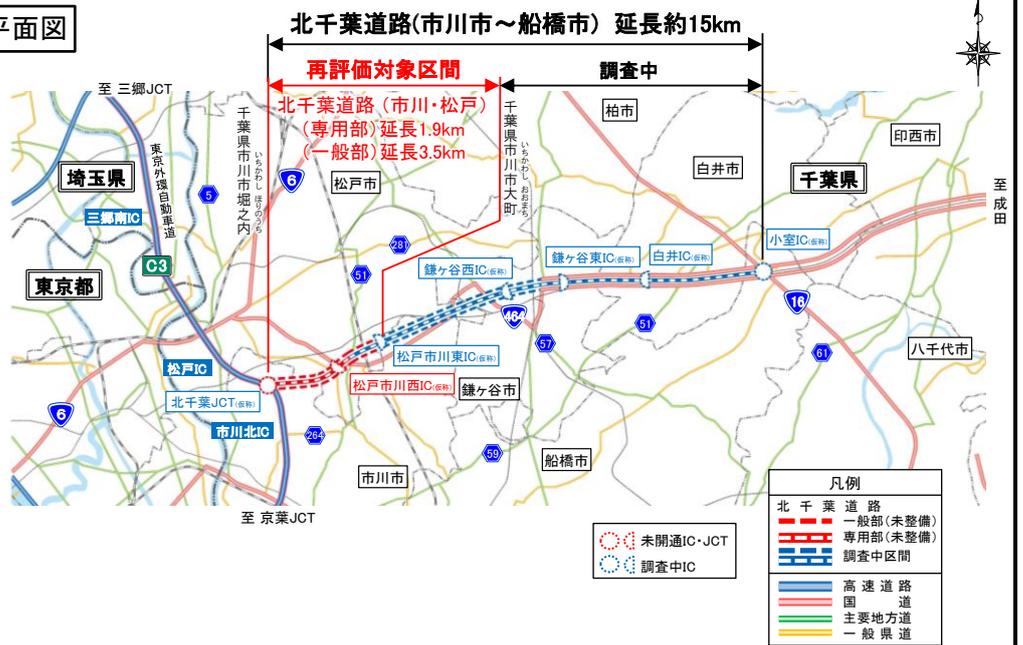
以上の事業効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえ、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

**事業概要図**

**位置図**



**平面図**



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。